

品質やデザイン性の高い旭川家具・木工クラフト商品を自社ECサイトで国内外に販売

創業者の永原社長は家業の建築会社に勤めている際に、内装工事における納品を通じて地元の旭川家具と接する機会が多く、商品力に魅力を感じていた。多くの地元メーカーが品質はよいものの、小規模な工房が多く、販売に課題を抱えていると感じ、2008年独立して「株式会社北廊」を設立した。現在、旭川家具・木工クラフト専門の自社ECサイト「MUKU工房本店」のほか、台湾ECサイトなどで海外にも販売している。2020年からは「旭川家具」に加え、岐阜県の「飛騨家具」の取扱いも開始している。

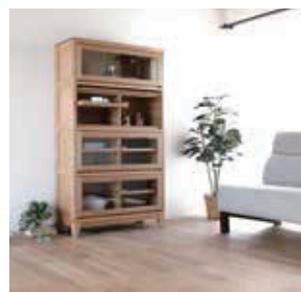
所在地 北海道旭川市永山北3条6丁目3-22
電話/FAX 016-673-6947/016-673-6957
URL <https://muku-store.com/>
代表者 代表取締役 永原 大介

設立 2008年
資本金 1,000万円
従業員数 22人



旭川家具の国内外への魅力発信、職人と技術の承継

旭川には100社を超えるメーカーが集積しており、近年は品質やデザイン性の高い旭川家具・木工クラフト商品を海外の見本市へ出展したり、国際イベントの地元開催を通じて海外への発信にも取り組んでいる。ECサイトでは旭川家具や木工クラフトの品質や職人のこだわりを発信し価値を伝えることで、国内外の顧客とメーカーの信頼を獲得すべく同業他社との差別化を図っている。また、職人の後継者不足が課題となるなか、廃業した工場を一次的に引き継ぐなど、職人の雇用確保、「旭川家具」の承継にも貢献している。



無垢材による家具

4カ国語対応の自社サイトなどによるアジア展開

従来からサイトへのアクセスが多かった台湾で2015年に現地法人を設立し、現地ECサイトに「MUKU工房」を開設した。2017年には常設店舗を開設、また、台湾での営業ノウハウを活用して、香港企業と販売代理店契約を結んだほか、シンガポール・マレーシア等での展開も検討している。サイトは4カ国語で対応（日本語、英語、中国語、繁体字）しており、電話・メール等の顧客対応も行っている。台湾法人設立を機に、台湾人女性が1人採用され、サイト開設や催事等の通訳、営業として活躍している。



無垢材のクラフト商品

営業活動が観光産業の発展にも貢献、その功績が観光庁長官の感謝状に繋がった

旭川家具では、近年は国際コンペを開催し、世界からデザインを募るなど、新たな発想での製品化にも取り組んでいる。こうした取り組みが評価され、旭川市は2019年10月にユネスコのデザイン都市の認定を受けるなど、地域の魅力発信に貢献している。また、北海道で開催されたG20観光大臣会合における来賓者への土産として、同社から（有）高橋工芸の「Kami」シリーズの食器とカップのセットを提案したところ、採用され、海外の観光大臣から「とても繊細な作りで素材感も伝わる」と高い評価をいただいた。



観光庁長官感謝状